

事業効果

熊取地区 地域総合オアシス整備事業

事業名	大項目 (事業共通)	農空間のもつ 多面的機能	事業による効果		受益者
			効果の指標等	具体的な効果の内容(地域の状況等)	
地域総合オアシス整備事業 (ため池整備)	費用便益分析				
	安全・安心	国土・環境保全	費用便益比 (B / C)	老朽化したため池堤体が決壊した場合に予想される被害を改修によって未然に防止する効果 ・ 想定被害額 B = 1,362,042千円 ・ 対象事業費 C = 890,000千円 (防災事業に要する費用) ・ 投資効率 (費用便益比) B/C = 1.53	ため池下流の住民
	定性的評価等				
	安全・安心	食料生産	ため池の受益面積	農業用水の確保により生産基盤が保全され農産物が安定供給される効果 (熊取地区の事業対象ため池の受益面積45.6ha)	農家
				老朽化した既存の水利施設を更新することにより、旧施設の機能が継続して発現する効果	
		国土・環境保全		ため池の整備により農業用水が確保され、水田、畑の維持保全につながることで、地下水のかん養や、土砂流出防止といった、国土・環境を保全する効果	府民
				かんがいのため水田に導水された農業用水が地下に浸透し、さらに河川に還元され流況安定に寄与する効果	
	防災	貯水量	火災発生時の防火用水や、震災時の生活用水として活用 最大貯水量 51万 t	周辺住民	
			降雨時の雨水の一時貯留施設としての効果		
	活力	健康・レクリエーション	利用状況	ため池周辺の散策や体験農園の利用	利用者
		交流	活動状況	・ ため池周辺の住民や水利関係者等からなるワークショップ活動による、ため池の環境整備の具体的な計画づくり ・ ため池環境コミュニティとして、長池地区環境管理準備会を平成9年4月に設立(地元自治会、水利組合や教育関係者等約40名で構成され、整備計画の策定、PR活動、各種イベントの開催等を行う) ・ 関係団体主催の「奨励賞」の受賞、各種シンポジウムへの参加等、ワークショップ活動によるオアシス活動の情報発信の場としての機能を発揮	利用者及び周辺住民
			利用状況	都市住民による、体験農園、親水護岸等のアメニティ施設の利用	利用者
	快適性 (生活環境)	生活		生活雑排水の流入やごみの不法投棄等により悪化したため池とその周辺が、オアシス整備事業により、改善され、快適な生活・住環境を形成する効果	周辺住民
		景観		オアシス整備事業により、周辺の地域資源と調和した美しい水辺景観を創造	府民
	環境 (自然環境)	生きもの生息		ため池は淡水魚や野鳥や水生生物等の生息空間(ピオトープ)となっており、ため池が適切に維持管理され、また生き物に配慮した整備を行うことによる、生態系の保全効果	府民
その他	文化・伝統		歴史的文化遺産であるため池文化の保存	府民	
	リサイクル	浚渫土の利用による建設コスト縮減額	ため池の浚渫土を利用した広場等の公共用地の造成	利用者	
	教育・福祉	開催状況	地域の子供を対象とした「ため池ふれあいまつり」の開催	周辺住民	